

GIANT

Liv

momentum

—

E-BIKE

入門マニュアル

SMART GATEWAY 2.0

V1.1



目次

1 序文	2
2 安全上の注意事項	4
3 バイクのご利用	7
3.1 EnergyPak	7
3.1.1 使用開始にあたって	7
3.1.2 EnergyPak Smart インチューブ	7
3.1.3 EnergyPak Smart 内蔵型	8
3.1.4 EnergyPak Smart コンパクト	10
3.1.5 EnergyPak Smart サイドリリース	11
3.1.6 EnergyPak サイドリリース	11
3.1.7 EnergyPak スマートキャリア	12
3.2 充電器	13
3.2.1 スマートチャージャー 4A 48V デュアル	13
3.2.2 スマートチャージャー 4A 36V デュアル	15
3.2.3 スマートチャージャー 6A 36V シングル	16
3.2.4 スマートチャージャー 4A 36V シングル	17
3.2.5 急速充電器 3A/4A 36V	18
3.2.6 充電	19
3.2.7 充電時間	22
3.3 コントロール	25
3.3.1 RideControl Dash 2	25
3.3.2 RideControl Go Lux	30
3.3.3 RideControl Go 2	34
3.3.4 RideControl Ergo 4	35
3.3.5 RideDash Evo 2.0	37
3.3.6 Aegis Tire Checker	41
3.3.7 Aegis Radar	43
3.3.8 E-Lock	45
3.4 キー	46
3.5 走行距離	46
4 運搬および保管	47
5 メンテナンス	49
6 廃棄	51
7 法的書類	52
7.1 保証	52
7.2 除外	53
7.3 適合性	53
7.4 免責事項	53

1 序文

ようこそ

この度は Giant、Liv、または Momentum の新しいEバイクをお買い上げいただきありがとうございます。お買い上げいただいたEバイクの種類を問わず、すぐにEバイクに乗る楽しさをご体験いただけます。

本マニュアルのご使用方法

このマニュアル書は、ご購入いただいたEバイクについての簡単なご説明を目的としています。本文書には必須の安全情報、およびEバイクの主な構成部品や機能の一部について、概要をまとめました。Eバイクをご使用になる前に、ウェブサイトのサポートセクションにアクセスの上、サイトでご入手いただける広範囲な情報を閲覧やダウンロードしていただくことも重要です。Eバイク固有の情報のほか、バイクオーナーズマニュアルに記載の一般情報も必ずご一読ください。

図

本マニュアルに記載される図は、お使いのEバイクモデルの構成とは詳細が異なる場合があります。図は一般的な参照情報で、取扱説明を行うことのみを意図しています。

本マニュアルで使用されている記号



警告: 安全に関する指示を守らない場合、死亡、重篤な身体損傷、深刻な物的損害につながる状況について警告します。



注意: 安全に関する指示を守らない場合、身体損傷または物的損害につながる状況について警告します。



注記: 問題を避けるために重要な情報を提供しています。



情報: 付加的な情報を提供しています。

情報リソースとダウンロード



GIANT: <https://www.giant-bicycles.com/global/manuals>



LIV: <https://www.liv-cycling.com/global/manuals>



MOMENTUM: <https://www.momentum-biking.com/global/manuals>

その他、自転車部品および保証に関する情報は、一般的なバイクオーナーズマニュアルをご覧ください。

サービスおよびサポート

本マニュアルは、サービス、メンテナンスや修理に関する詳細な参照資料ではありません。サービスや技術サポートについては、取扱店/販売店にご連絡ください。



バイクで走行を開始する前に、このマニュアルのすべての情報をよくお読みください。安全上の注意事項は非常に重要ですので、見落とさないようにしてください。マニュアルを読むことで、一般的な操作についてよりよく理解できるようになります。

2 安全上の注意事項

自転車の安全な使用

一般道路でEバイクを使用する前に、電動アシスト付きバイクに乗り慣れるために、安全な場所で乗車してください。バイクのすべての設定を試し、乗車に慣れてください。



警告

- あらゆる状況に素早く対応できるように、走行中は必ず両手でハンドルバーを握り、ブレーキレバーがすぐに使える位置にあることを確認してください。注意を怠ると、自転車のコントロールを失う恐れがあります。
- ライディングの都度、ステアやブレーキといったバイクの技術的狀態やすべての重要機能のライド前チェックを行います。
- バッテリーを正しい位置にしっかりと固定してください。
- 固定具はすべて正しくきっちりと締めるようにしてください。
- ライディング中に故障する可能性のある、摩耗、損傷したパーツがないことを確認してください。

バッテリーと充電器

バッテリーと充電器をお取り扱いの際は、以下の情報すべてをご確認ください。



警告

- バッテリーはお子様やペットの手の届かないところに置いてください。
- バッテリーと充電器は水や直火から離しておいてください。
- バッテリーと充電器は落としたり、大きな衝撃を受けることがないようにしてください。
- バッテリーは、Eバイクに装備された充電器、または正規ディーラーが販売するスペア/交換用充電器でのみ充電してください。
- バッテリーと充電器を他の目的で使用しないでください。
- バッテリー端子同士をつなぐことは絶対におやめください。
- 充電中にバッテリーと充電器を覆ったり、その上に物を置かないようにしてください。
- 充電中にバッテリーと充電器を放置しないでください。
- 異様な臭いや煙に気付いた場合、直ちに充電器とバッテリーの接続を外してください。
- 万が一、バッテリーに火がついた場合は、水で火を消そうとするのは絶対にやめてください。上から大量の砂をかけて火を覆い、直ちに救急隊を呼んでください。
- **コイン電池:** コイン電池は危険です。お子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり体内に入れたりしないでください。飲み込んだり体内に入れたりすると、2時間以内に重傷または致命傷を負う可能性があります。これが発生した場合、またはその疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- **高温:** 素手で表面に触れないでください。重度の火傷を引き起こす可能性があります。





注意

充電操作中、バッテリーと充電器との接触を避けます。充電中は、充電器が熱くなることがあります。



注記

バッテリーの寿命が来た場合は、有害廃棄物として処理する必要があります。一般家庭ごみで廃棄することはできません。バッテリーの正しい廃棄については、担当の取扱店/販売店にお問い合わせください。

キャリア



警告

キャリアに載せた荷物やチャイルドシートが、メーカーの取扱説明に。従ってしっかり固定されていることを確認してください。また、ストラップや他の物がゆるんでいないことを確認し、タイヤに絡まることのないようにしてください。



注意

- 荷物を安全に載せることができるのは、キャリアのみです。バイクの他の部分には荷物を載せないでください。
- キャリアに物を積んでいる場合、自転車の動きが異なる場合があります (特にステアリングとブレーキ)。
- 最大リアキャリア積載重量(EnergyPak を含む): 22 kg。



注記

- 荷物をキャリアに載せた場合に隠れないよう、リフレクターとランプの位置を確認して調整するようお勧めします。
- 一部のバイクでは、バッテリーホルダーとキャリアが一体型となっています。バッテリーやホルダーの損傷の原因にならないように、荷物がしっかりと固定されていることを確認してください。



情報

荷物は、キャリアの両側に均等に分けて載せるようお勧めします。

付属品



注意

- 取り付け、使用、安全に関する注意事項については、必ずチャイルドシートのメーカーの取扱説明書にしたがってください。絶対にチャイルドシートに合わせてEバイクに標準装備の部品を変更/改造しないでください。
- 本書内に記載されているEバイクの積載重量や許可されている合計積載荷重を絶対に超えないでください。
- チャイルドシートの使用は、Eバイクの電気部品や機械部品にかかる負荷応力や摩耗の増加につながります。
- サドルの下のコイルスプリングが剥き出しになっているサドルが取り付けられたバイクでチャイルドシートを使用する場合、コイルスプリングにお子様の指が挟まり、お子様がけがをするリスクが非常に高くなります。お子様の指が挟まることを防ぐため、適切な対策を取ってください。
- キャリアに付属の説明書をよく読み、最寄りの取扱店/販売店に問い合わせるなど、取り付け、最大荷重、トルクの仕様、パーツの仕様、対応する最大ホイールサイズ、トレーラーおよびチャイルドシートの互換性などを必ず確認してください。
- メーカー、輸入業者および販売店の名前や住所、商標、モデル、製品バッチ番号または参照番号などに関する情報は、キャリアの書類またはキャリア本体に記載されている情報を確認してください。

3 バイクのご利用

3.1 EnergyPak

EnergyPak は、Eバイクシステムの動力源となる充電式バッテリーです。EnergyPak は、様々な形、サイズ、エネルギー容量、互換性のものを取り揃えています。Eバイクのモデルによって、色々な場所に取り付けることができます。EnergyPak は、Eバイクに装備された純正の充電器で充電してください。



注意

- シールが壊れた製品は使用できません。適切なリサイクルのために直ちに返送してください。
- EnergyPak をデバイスの温度が -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) の間で使用してください。 0°C 以上で最適なパフォーマンスを発揮しますが、デバイスの温度が低いとパフォーマンスが低下することがあります。



注記

- EnergyPak のタイプ、バージョンの一部は、本マニュアルに掲載されていません。
- EnergyPak に関する詳しい情報は、ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。
- 各EnergyPak の正確な技術仕様などの詳細情報については、EnergyPak の印刷ラベルに記載されています。

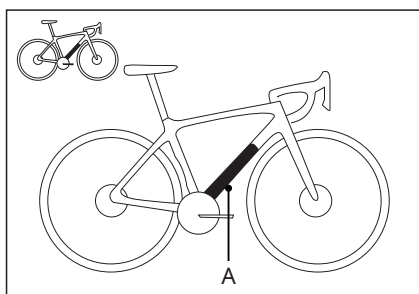
3.1.1 使用開始にあたって

- 各 EnergyPak システムは、出荷前に工場で作動しないよう設定されています。
- EnergyPak は、アクティベートするまでは機能しません。
- EnergyPak を動作させるには、充電器で充電してください。
- ご利用開始の前には、新しい EnergyPak をフル充電されることをお勧めします。
- EnergyPak は、初回の使用時にはパフォーマンスを最大限発揮しないこともあります。
- EnergyPak の性能は、(走行による)放電・再充電のフルサイクルを何度か経た後に安定します。

3.1.2 EnergyPak Smart インチューブ

部品の説明

A. EnergyPak



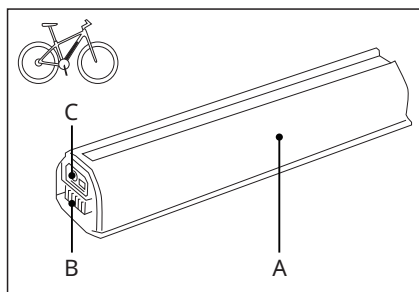
注記

安全上の理由から、EnergyPak Smart インチューブの取り外しまたは取り付けは、認定された整備士のみが行うようにしてください。

3.1.3 EnergyPak Smart 内蔵型

部品の説明

- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ



取り付けと取り外し

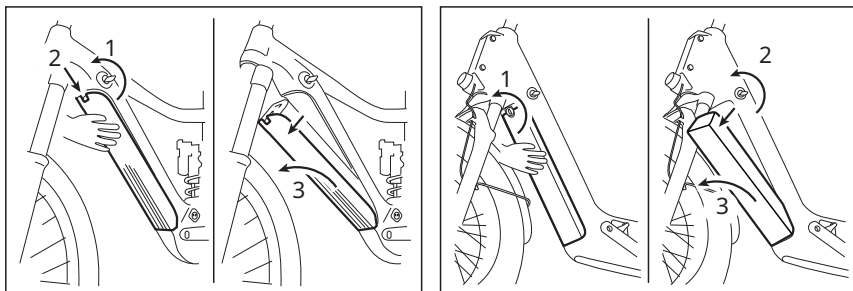


注記

EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。

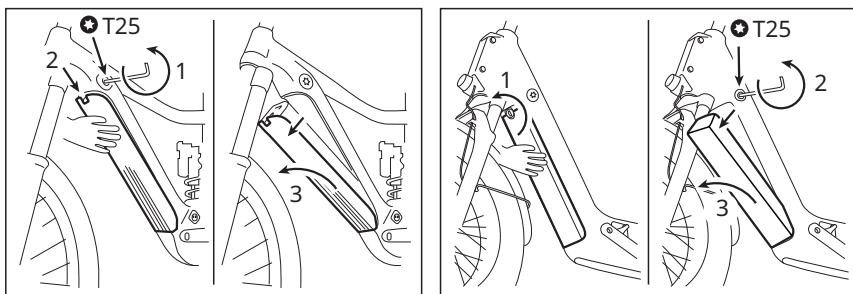
EnergyPak の取り外し (キーロックタイプ)

- バッテリーカバーのツイストノブを緩め、ダウンチューブの下側からバッテリーカバーを取り外します。
- フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。EnergyPak がわずかに外側に外れます。
- トップローディング内蔵型バッテリーのみ：EnergyPak を持ち上げて外します。
- 落下防止保護レバーを押して EnergyPak のロックを完全に解除します。
- バッテリーをバイクから取り外します。



EnergyPakの取り外し(トルクスロックタイプ)

- バッテリーカバーのツイストノブを緩め、ダウンチューブの下側からバッテリーカバーを取り外します。
- フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- サイズ 25 のトルクスツールを差し込み、反時計回りに回して、EnergyPak のロックを解除します (ねじは取れない仕組みになっているため、ねじが完全に外れることはありません)。
- 落下防止保護レバーを押して EnergyPak のロックを完全に解除します。
- バッテリーをバイクから取り外します。

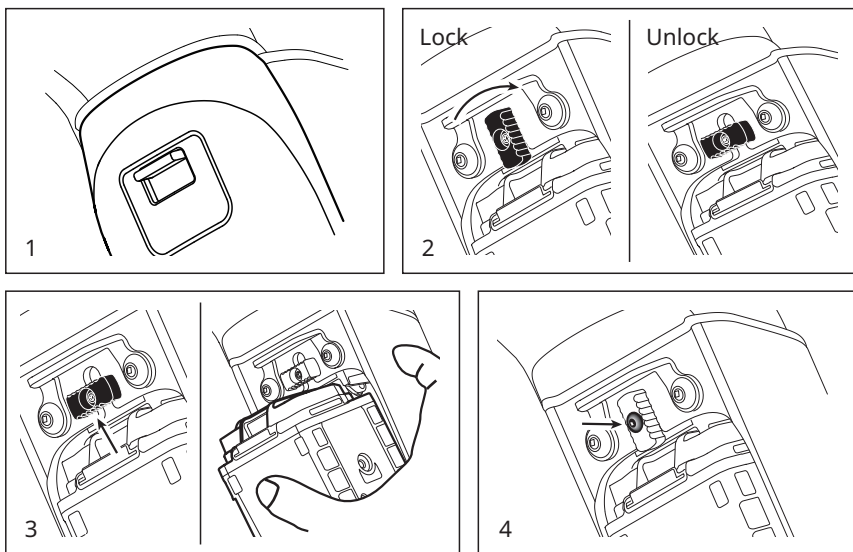


EnergyPak の取り付け

- 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- カバーを元に戻し、ツイストノブで固定します。
- キー/トルクスツールを引き抜きます。

内部ロック式

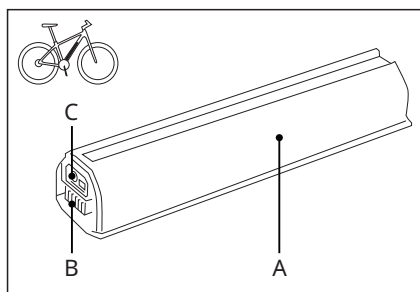
1. クリップを外して、ダウンチューブからバッテリーカバーを取り外します。
2. バッテリーカバーを外すと、ダウンチューブ上部にラッチレバーが見えます。90度回して解除位置にしてください。
3. レバーをステム方向へ上に押し上げると、バッテリーが解放されます。落下を防ぐため、もう一方の手でバッテリーを支えてください。
4. レバー中央のロックナットをロック位置で固定し、バッテリーの誤落下を防ぐこともできます。
5. バッテリーを取り付ける際は、ラッチレバーが解除位置にあることを確認してください。ボトムブラケット付近の下端からバッテリーを挿入し、フレームに押し込んでラッチを掛けます。正しく装着されると、はっきりとしたクリック音が聞こえます。
6. レバーをロック位置に回してください。そうしないと、バッテリーカバーを取り付けることができません。
7. バッテリーカバーを取り付ければ、準備完了です。



3.1.4 EnergyPak Smart コンパクト

部品の説明

- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ



取り付けと取り外し



注記

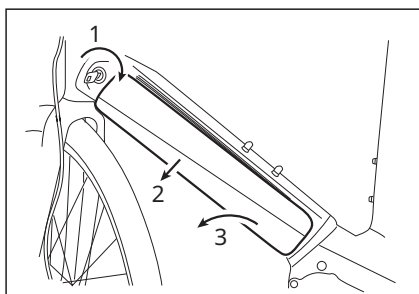
EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。

EnergyPak の取り外し

- フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。EnergyPak がわずかに外側に外れます。
- バッテリーをバイクから取り外します。

EnergyPak の取り付け

- 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- キーを抜きます。



3.1.5 EnergyPak Smart サイドリリース

部品の説明

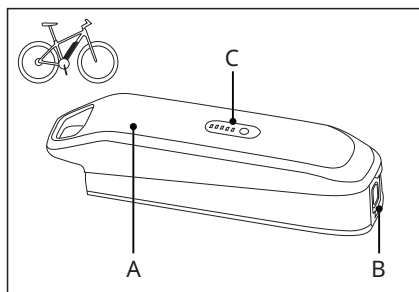
- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ

取り付けと取り外し



注記

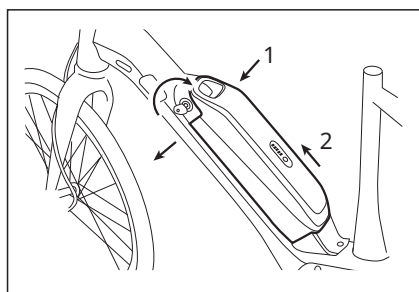
EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。



EnergyPak の取り外し

フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。

- キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。EnergyPak がわずかに外側に外れます。
- バッテリーをバイクから取り外します。



EnergyPak の取り付け

- 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- キーを抜きます。

3.1.6 EnergyPak サイドリリース

部品の説明

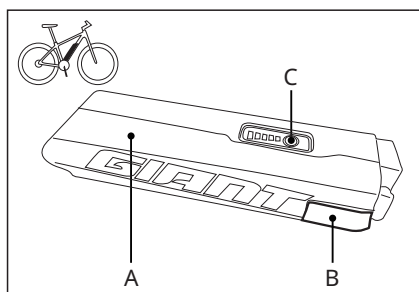
- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ

取り付けと取り外し



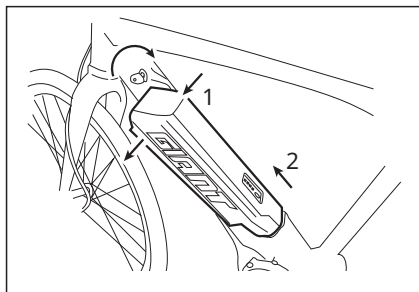
注記

EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。



EnergyPak の取り外し

- フレームに内蔵されているバッテリーがロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。
- EnergyPak の上部を横方向へ引きます。
- EnergyPak を持ち上げて、バイクから取り外します。



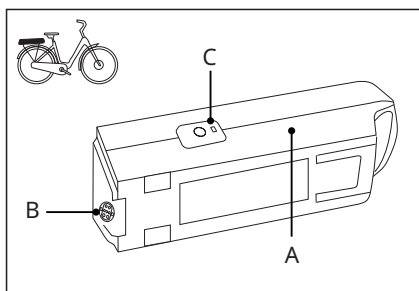
EnergyPak の取り付け

- 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- キーを抜きます。

3.1.7 EnergyPak スマートキャリア

部品の説明

- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ



電量レベル

LED インジケータ

0~3%

赤 (点滅)

4~20%

赤 (点灯)

21~40%

橙色 (点灯)

41~60%

黄色 (点灯)

61~100%

白色 (点灯)

取り付けと取り外し

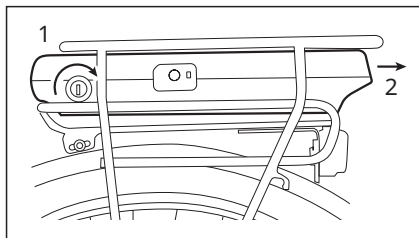


注記

- EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。
- 乗車前にバッテリーが正しく取り付けられていることを必ず確認してください。

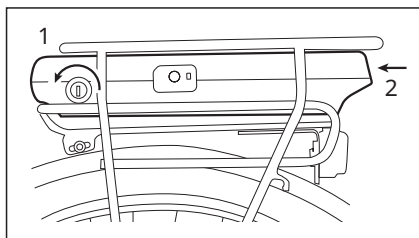
EnergyPak の取り外し

- キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。
- グリップを掴み、EnergyPak を後方に引きます。
- EnergyPak を引っ張り出します。



EnergyPak の取り付け

- キーを元の位置に戻してください。
- 下の部分でスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- EnergyPak を前方に押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します (固定の際に「カチッ」という音が聞こえます)。
- キーを抜きます。
- バッテリーを軽く後方に引っ張り、所定の位置にしっかりとロックされていることを確認して最終チェックを行ってください。



3.2 充電器



注意

Eバイク付属、または正規取扱店/販売店が提供する適切な充電器のみをご使用ください。



注記

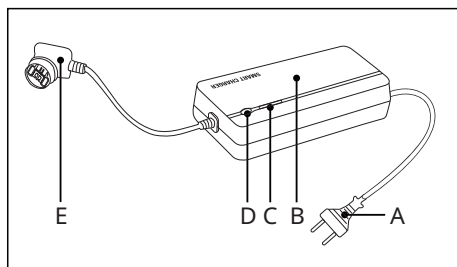
- 充電器のタイプ、バージョンの一部は、本マニュアルに掲載されていません。充電器に関する詳しい情報は、ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。
- 正確な技術仕様などの詳細情報については、充電器の印刷ラベルに記載されています。

3.2.1 スマートチャージャー 4A, 48V, デュアル

4A スマートチャージャーは、大容量 EnergyPak 用の強力な充電器です。スマートチャージャーはバッテリーの内部状態を継続的に監視し、それに応じて充電プロセスを調整して、最速の充電速度と最大のバッテリー寿命を実現します。

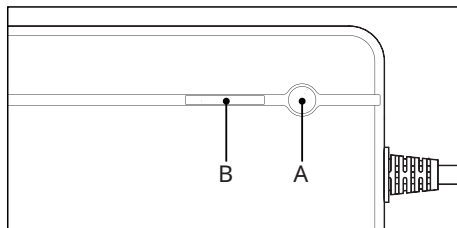
部品の説明

- A. AC ソケット (110V~240V)
- B. 充電器
- C. 60% 充電インジケータ-LED / ボタン
- D. 100% 充電インジケータ-LED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン / LED



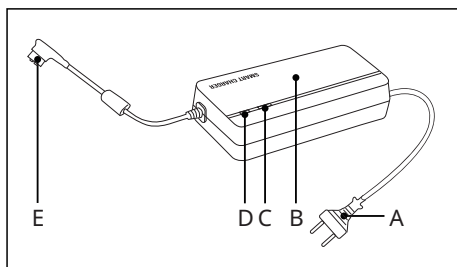
LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > オフ	順序	電源オンセルフテスト
B	緑 > 紅 > オフ		
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
B	黄	ボタン B を押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤 > 緑 > オフ	順序	充電の問題 (短路保護)
B	緑 > 赤 > オフ		

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

3.2.2 スマートチャージャー 4A, 36V, デュアル

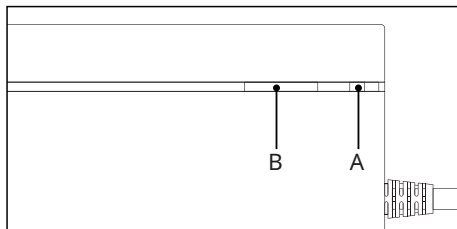
部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. ボタン
- D. LED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン



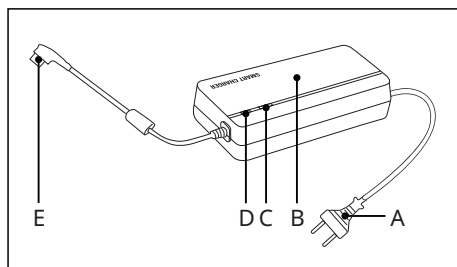
LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > オフ	順序	電源オンセルフテスト
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
A	黄	ボタン B を押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤 > 緑 > オフ	順序	充電の問題 (短路保護)

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

3.2.3 スマートチャージャー 6A, 36V, シングル

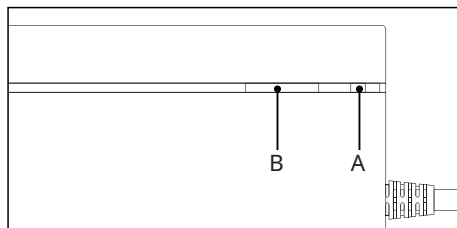
部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. ボタン / LED
- D. LED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン / LED



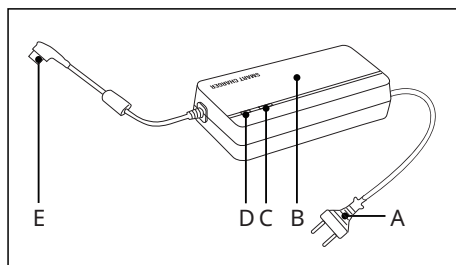
LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > オフ	順序	電源オンセルフテスト
B	緑 > 赤 > オフ		
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
B	黄 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	ボタン B を押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) >	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s) 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) >	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (短路保護)

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

3.2.4 スマートチャージャー 4A, 36V, シングル

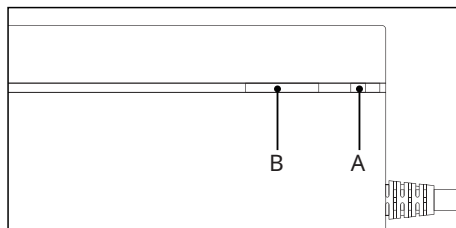
部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. ボタン
- D. LED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン



LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > 赤	順序	電源オンセルフテスト
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
A	黄色	ボタン B を押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤 > 緑 > オフ	順序	充電の問題 (短路保護)

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

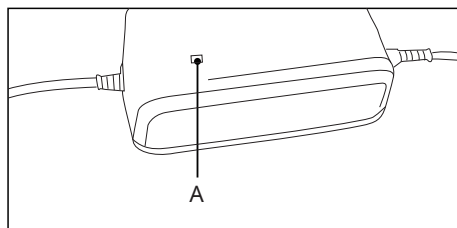
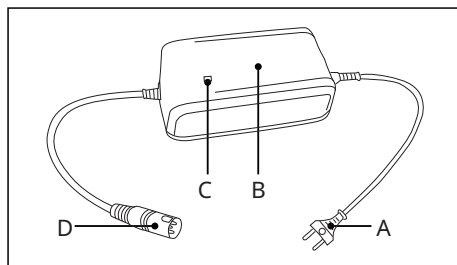
3.2.5 急速充電器 3A/4A, 36V

部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. LED
- D. 充電ソケット

LED ステータスの説明

- A. LED



LED	色	動作	ステータス
A	赤	点灯	充電が有効
A	赤	点滅 (間隔0.5秒)	充電の問題
A	緑	点灯	バッテリーなし バッテリーフル充電

3.2.6 充電



注意

- 接続する前に、必ずすべてのコネクタを正しく調整してください。
- EnergyPak をデバイスの温度が 0°C~45°C (32°F~113°F) の間で充電してください(推奨温度は 20°C/68°F)。
- 0°C(32°F) 以下または 45°C(113°F) 以上での充電は、充電不足になったり、バッテリーの寿命に悪影響を及ぼすことがあります。
- EnergyPakをバイクで充電する時は、バイクが安定してしっかりと立つことを確認してください。
- 充電器をバイクに接続した状態で、バイクに腰掛ける、バイクを動かす、クランクを回すことはしないでください。

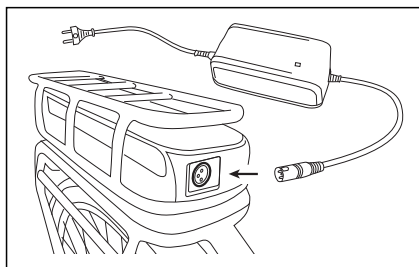
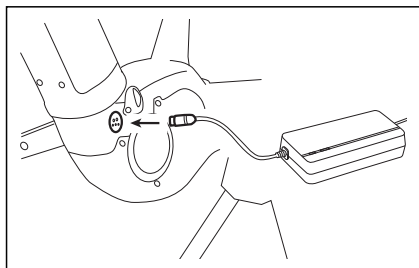
EnergyPak の取り付け

充電開始

- 充電器を EnergyPak の充電ポートに接続します。
- 充電器をACコンセントに接続します
- 充電が開始します。

充電終了

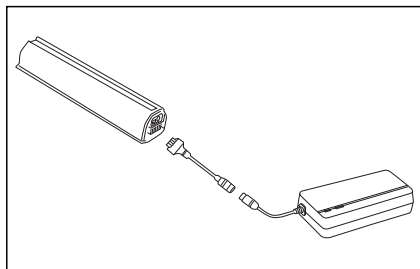
- AC コンセントから充電器を外します。
- 充電器を EnergyPak から外します。



EnergyPak の取り外し

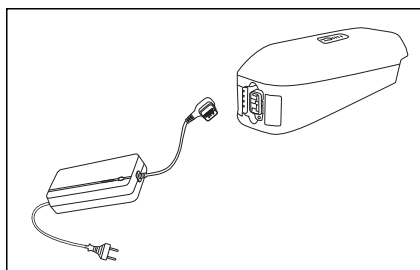
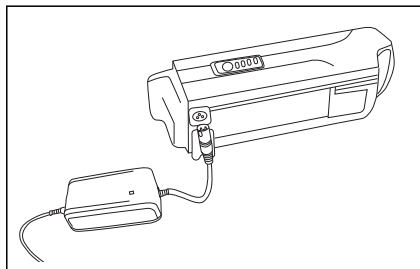
充電開始

- バイクから EnergyPak を取り外します。
- 充電器を EnergyPak の充電ポートに接続します。
- 充電器を AC コンセントに接続します
- 充電が開始します。



充電終了

- AC コンセントから充電器を外します。
- 充電器を EnergyPak から外します。
- EnergyPak を自転車に戻します。



注記

EnergyPak が完全に充電されたら、充電器を EnergyPak およびACコンセントから外します



情報

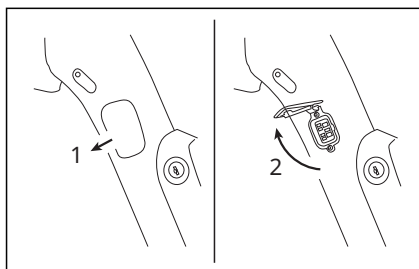
- 充電器の LED が充電プロセスの状態を表示します。
- EnergyPak の LED インジケータに、現在のエネルギーレベルが表示されます。
- 充電はいつでも終了/中断できます。

EnergyPak Smart サイドリリース

EnergyPak Smart サイドリリースにはスタンバイモードを維持する機能があり、ディスプレイに追加の充電フィードバックが表示されます。バイクに取り付けられた EnergyPak を使用してオンボード充電を行うには、Eバイクシステムのスイッチをオンにする必要があります。

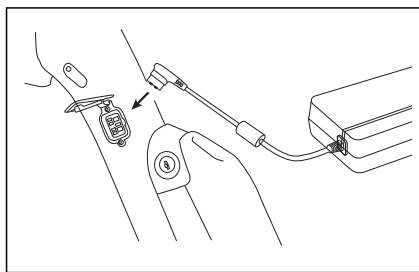
充電の開始

- オン/オフボタンを押して、Eバイクの電源を入れます
- 充電ポートのカバーを引きます。
- 充電器をバイクの充電ポートに接続します。
- 充電器を AC コンセントに接続します。
- 画面または充電器の LED をチェックして、充電が有効になっていることを確認してください。



充電の停止

- 充電器を AC コンセントから切断します。
- 充電器を EnergyPak から切断します。
- EnergyPak をバイクに戻します。



注記

EnergyPak が完全に充電されたら、充電器を EnergyPak および AC コンセントから外します



情報

- 充電する前にオン/オフボタンを押して、Eバイクの電源を入れます。
- EnergyPak の LED インジケーターは、現在のバッテリーレベルを示します。
- ディスプレイには現在のバッテリーレベルが表示されます。

3.2.7 充電時間

EnergyPak Smart インチューブ 36V

容量		400 Wh		250 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A
	0~60%	1:20 h	1:40 h	1:20 h	1:20 h
充電	0~80%	2:00 h	2:30 h	2:00 h	2:00 h
	0~100%	4:30 h	4:50 h	3:30 h	3:30 h
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak Smart 内蔵型 36V / 48V

		36V					
容量		800 Wh		750 Wh		625 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A	6A	4A
	0~60%	2:15 h	3:30 h	2:10 h	2:50 h	1:50 h	2:30 h
充電	0~80%	3:10 h	4:40 h	2:55 h	3:50 h	2:35 h	3:30 h
	0~100%	5:40 h	7:20 h	5:10 h	6:40 h	4:40 h	5:50 h
スマート充電		●		●		●	
保管モード (60%)		●		●		●	

		36V				48V	
容量		500 Wh		430 Wh		780 Wh	560 Wh
充電器		6A	4A	6A	4A	4A	4A
	0~60%	1:30 h	2:00 h	1:20 h	1:50 h	2:45 h	2:10 h
充電	0~80%	2:10 h	2:50 h	2:10 h	2:40 h	3:50 h	3:10 h
	0~100%	4:10 h	5:10 h	4:10 h	4:30 h	5:20 h	4:30 h
スマート充電		●		●		●	●
保管モード (60%)		●		●		●	●

EnergyPak Smart コンパクト 36V

容量		500 Wh		375 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A
	0~60%	1:30 h	2:00 h	1:20 h	1:50 h
充電	0~80%	2:10 h	2:50 h	2:00 h	2:30 h
	0~100%	4:10 h	5:10 h	4:30 h	4:50 h
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak Smart サイドリリース 36V

容量		600 Wh		500 Wh	
充電器		4A		4A	
	0~60%	2:30 h		2:00 h	
充電	0~80%	3:30 h		2:50 h	
	0~100%	5:50 h		5:10 h	
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak サイドリリース 36V

容量		250 Wh	
充電器		6A	4A
	0~60%	1:20 h	1:20 h
充電	0~80%	2:00 h	2:00 h
	0~100%	3:30 h	3:30 h
スマート充電		●	
保管モード (60%)		●	

容量		500 Wh		400 Wh	
AC voltage		110 V	200~240 V	110 V	200~240 V
	0~80%	3:40 h	2:45 h	3:00 h	2:00 h
	0~100%	7:20 h	5:00 h	6:00 h	4:30 h
スマート充電		-		-	
保管モード (60%)		-		-	

EnergyPak プラス 36V

容量		250 Wh		200 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A
	0~60%	1:20 h	1:20 h	2:10 h	2:10 h
充電	0~80%	2:00 h	2:00 h	2:50 h	2:50 h
	0~100%	3:30 h	3:30 h	4:10 h	4:10 h
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak スマートキャリア 36V

容量		500 Wh		375 Wh	
充電器		4A		4A	
	0~60%	2:10 h		1:40 h	
充電	0~80%	2:50 h		2:10 h	
	0~100%	4:30 h		3:30 h	
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

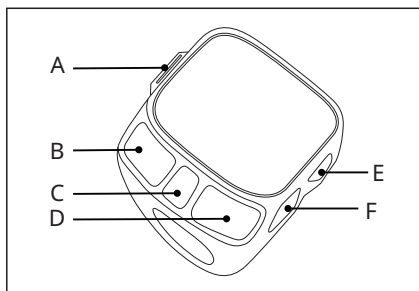
3.3 コントロール

3.3.1 RideControl Dash 2

RideControl Dash 2は、EnergyPak、SyncDriveモーター、センサー、ライトなどの電子パーツから得られるさまざまな走行データを表示するカラーディスプレイ付きの一体型リモートコントロールです。人間工学に基づいたデザインにより、自然に親指だけで直感的かつ快適にすべての走行機能を操作できます。刷新されたユーザーインターフェースと相まって、RideControl Dash 2はE-bikeライドの頼れるパートナーとなるでしょう。

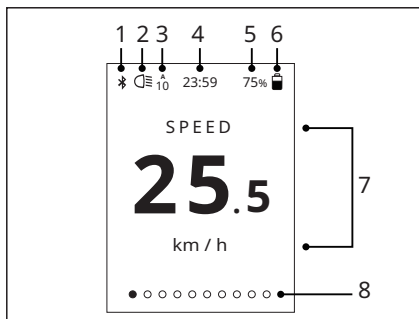
機能操作:

- 電源オン/オフ
 - 電源オン: ボタン(A)を短く押す
 - 電源オフ: ボタン(A)を1.5秒以上長押し
- アシストレベルアップ
 - ボタン(B)を短く押す
- ウォークアシスト (日本国内非対応)
 - ボタン(C)を1.5秒以上押した後、ボタン(D)を長押し
 - ウォークアシスト機能の停止: ボタン(D)を離す
- アシストレベルダウン
 - ボタン(D)を短く押す
- ライトオン/オフ
 - ボタン(A)を短く押す
- スマートアシスト (AUTO)モード (日本国内非対応)
 - ボタン(B)を1.5秒以上長押し
- 走行ページの切り替え (左/右) / * Eシフト (ギアアップ/ダウン)
 - ボタン(E)または(F)を短く押す
- 設定メニュー
 - ボタン(B)と(D)を同時に短く押す
- メニュー選択の確認
 - ボタン(C)を短く押す
- 手動/自動変速モード*
 - ボタン(E)と(F)を同時に短押しする
 - オートモードで好みのケイデンス設定を行うには(E)または(F)を押す



表示項目:

- ワイヤレス接続
- ライトステータス
- Eシフト
- 時刻
- バッテリーステータス
- バッテリー残量インジケータ
- データフィールド
- 走行ページ



情報

- * この機能はEシフトを搭載した自転車でのみ使用可能です。その場合、ライダーはボタン(C)を使用して走行ページを右方向にのみ切り替えることができます。
- 地域の規制により、ウォークアシスト機能は一部の地域/国では利用できません。

電源オン/オフ

- 「電源オン/オフ」ボタン(A)を押してシステムをオン/オフにすると、LEDが2秒間点灯し、ディスプレイにGIANT/LIV/MOMENTUMのブランドロゴが起動アニメーションとして表示され、その後バッテリー残量が表示されます。その後、走行ページが表示され、走行準備が完了します。
- システムをオフにするには、「電源オン/オフ」ボタン(A)を1.5秒以上長押しして離します。LEDが消灯し、ディスプレイに「SEE YOU」と表示されディスプレイが消えます。

アシストモード

各アシストモードは、認識しやすいように専用のディスプレイ背景色があります：

アシストモード	背景色
OFF	グレー
ECO	ライトグリーン
TOUR	グリーン
ACTIVE	イエロー
SPORT	オレンジ
POWER	レッド
AUTO - Smart Assist	ブルー

- アシストモードの表記名と各モードでのアシスト比率は、モデル、地域/国によって異なります。
- ECOモードはアシスト力は弱めですが、バッテリーが長持ちし、長い距離を走るのに適しています。
- POWERモードは最も強いアシスト力で坂道などに向いていますが、バッテリーの減りが早く、走れる距離は短くなります。

アシストモードの切り替え

- ボタン(B)または(D)を押してアシストモードを変更します。
- アシストモードを切り替えると、そのモードでの推定航続距離が表示されます。3秒後に走行ページに戻ります。

スマートアシスト (AUTO) モード (日本国内非対応)

- スマートアシスト (AUTO) モードでは、SyncDriveモーターが地形とライダーの入力に応じてアシストパターンを自動的に調整します。
- ボタン(B)を1.5秒間長押しすると、スマートアシストが有効になり、ディスプレイにアシストモードとして「AUTO」が表示されます。
- スマートアシスト (AUTO) モードで操作中、ボタン(B)または(D)を押すと手動アシストモードに切り替わります。AUTOモードを終了すると、システムは常にACTIVEモードがデフォルトとなります。

アシストオフ

自分の力で走行するために、モーターアシストをオフにすることもできます。

- ボタン(D)でアシストモードを切り替え、ディスプレイに"OFF"と推定残距離が表示されるまで進みます。
- その他のすべてのシステム機能は引き続き使用可能です。

ウォークアシスト(日本国内非対応)

ウォークアシストは、自転車を押して歩く際に自転車を前進させる機能です。この機能を有効にすると、ドライブユニットが後輪を軽く駆動して自転車の重量を軽減します。自転車を押して歩く速度に応じて、ウォークアシストは最大6 km/h (4 mph)までの速度をサポートできます。

- ボタン(C)を1.5秒間押して、ウォークアシストをスタンバイ状態にします。
- 3秒以内にボタン(D)を押して、ウォークアシストを有効にします。
- ボタン(D)を離すとウォークアシストが一時停止します。一時停止後3秒以内にボタン(D)を押すと、ウォークアシストが再び作動します。



情報

- ウォークアシストのスタンバイのためにボタン(C)を押した後、または使用中の一時停止のためにボタン(D)を離した後、3秒以内にウォークアシストを有効にするコマンドがない場合、ウォークアシストは終了し、通常の走行ページに戻ります。
- 地域の規制により、ウォークアシスト機能は一部の地域/国では利用できません。

ディスプレイ

1. ワイヤレス接続: 自転車とRideControlアプリ間のワイヤレス接続が有効になっていることを示します。
2. ライトステータス: アイコンは自転車のライトがオン/オフされていることを示します。
3. Eシフト: このアイコンは電子変速の状態を示します。
 - A: オートシフトモード
 - M: マニュアルシフトモード"A"または"M"の下の数字はギアポジションを示します。
4. 時刻: 現在時刻を表示します。
5. バッテリーステータス: 現在のEnergyPakの残量を100%から0%まで示します。
 - バッテリー残量が3%未満になると、バッテリーアイコンが点滅を開始します。システムは最低アシストモードに切り替わります。
 - バッテリー残量が1%未満になると、バッテリーアイコンは点滅を続けます。パワーアシストシステムは自動的にシャットオフします。安全機能として、自転車のライトは少なくとも2時間は機能し続けます。



情報

- バッテリーステータス、時刻、ライトのオン/オフは常にステータスバーに表示されます。他のアイコンは機能が作動している時のみ表示されます。
- すべての機能にアクセスするには、RideControlアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。一部の機能は特定の自転車モデルまたはコンポーネントでのみ使用可能であることにご注意ください。詳細については、機能互換性チャートを確認するか、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

データフィールド

データフィールドは、単一の走行ページで様々な走行情報を表示するために使用されます。表示される情報の数は設定メニューを通じて1から2まで変更でき、カスタマイズすることができます。また、表示したい走行ページの数を定義することもできます。ボタン(C)を1回押すことで、これらのページ間をスクロールできます。走行ページとデータフィールドのデフォルト設定(6ページ、各1フィールド)：

- 速度：現在の走行速度
- 補助残距離：選択したアシストモードに基づく推定航続距離
- 走行距離：最後のリセット以降の累積走行距離
- 走行時間：最後のリセット以降の累積走行時間
- ケイデンス：現在のペダリング速度 (rpm、1分あたりの回転数)
- 総走行距離：初回使用以降の総走行距離



情報

- 実際のバッテリー走行可能距離は、地形条件、ライダー、走行スタイル、天候によって異なります。十分な電力を確保するため、毎回の走行前にバッテリー走行可能距離を確認してください。地形や風などの要因が走行中の走行可能距離に影響を与える可能性があることにご注意ください。
- ボタン(E)または(F)を押して、異なる走行ページを切り替えることもできます。
- 走行ページの最大数は10、最小数は1です。

自転車ライトとディスプレイの明るさ

- システムがオンの後、ボタン(A)を短く押して自転車ライトをオン/オフします。
- ライトのステータスはステータスバーのアイコンからも確認できます。
- 昼/夜のディスプレイの明るさは、ライトがオフ/オンの時に昼/夜モードになるようにフロントライトスイッチに従います。
- 設定 > 走行 > 明るさを通じて、お好みの昼/夜時のディスプレイの明るさレベルを調整することもできます。



情報

システム機能は接続されているRideControlリモートによって異なります。

バッテリー残量インジケータ

10%間隔で推定航続距離を示す10段階のバッテリーレベルがあります。20%未満になると、バッテリー残量低下を通知する色付きアイコンが順次表示されます：

- 19%-10%：黄色の点灯
- 9%-4%：赤色の点灯
- 3%-0%：赤色の点滅



情報(日本国内非対応)

E-bikeがデュアルバッテリーを搭載している場合、2つのバッテリーアイコンが表示されます。左側のアイコンはセカンダリーバッテリーを、右側のアイコンはメインバッテリーを示します。バッテリーのパーセンテージは両方のバッテリーの合計値です。

設定メニュー

ボタン(B)と(D)を同時に短く押して設定メニューにアクセスします。設定メニュー内では、ボタン(B)と(D)は設定コントロールとして機能します。設定メニューを終了すると、これらのボタンは走行機能コントロールに戻ります。

システムイベント

システムイベントの異なるレベルを通知する3種類のポップアップ通知があります：故障が発生すると、システムイベント警告がディスプレイに表示されます。

- レベル3：警告

このシステムイベントレベルは、走行を妨げる可能性のある故障やエラーによる重大な状態を示します。このメッセージが表示された場合、自転車を点検するか、ジャイアント正規販売店に相談して更なる支援を受けることをお勧めします。レベル3の警告メッセージは手動でのみ解除できます。任意のボタンを押すと警告メッセージが消え、ステータスバーにレンチアイコンが表示されます。

- レベル2：注意

レベル2の注意メッセージは、二次的なエラーまたはステータスを通知します。これらのイベントはシステム動作に即座には影響しませんが、注意が必要です(異常なタイヤ空気圧など)。レベル2の通知は3秒後に自動的に消えるか、この期間中に任意のボタンを押して消すことができます。レベル3の警告と同様に、メッセージが消えた後にステータスバーにレンチアイコンが表示されます。

- レベル1：通知

レベル1の通知は、システム状態の変更や操作への応答(Eシフトのギア変更など)を表示します。これらの通知は3秒後に自動的に消えるか、この期間中に任意のボタンを押して消すことができます。より高いレベルの警告とは異なり、レベル1の通知ではステータスバーにレンチアイコンは表示されません。

クイックトラブルシューティング手順

1. ディスプレイに表示されたイベントの説明を記録します。
2. システムをオフにします。
3. タイヤのパンクやシステムの再起動など、その場で解決できる原因がないか確認します。
4. 安全上の問題がない場合は、問題を除外してシステムを再起動してみてください。
5. 問題が正常に解決された場合は走行を継続できますが、未解決の問題やメンテナンスの必要性がないことを確認するため、ジャイアント正規販売店でサービスチェックを予約してください。
6. 問題が解決しない場合は、手順1-4を繰り返してください。
7. 数回確認しても問題が解決しない場合は、安全のために走行を中止し、ジャイアント正規販売店に連絡してサービスと修理を受けてください。

3.3.2 RideControl Go Lux

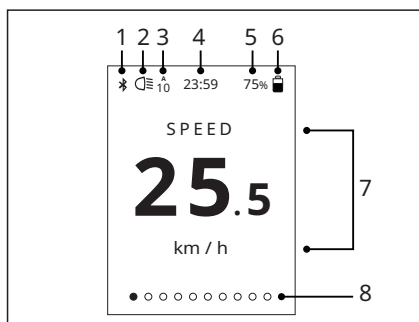
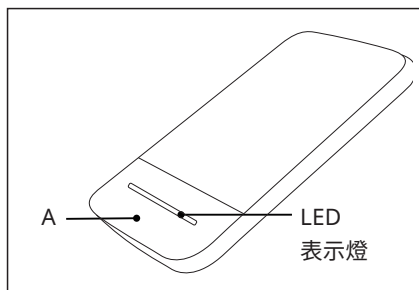
RideControl Go Lux は、パフォーマンスライダー向けに設計された、電源ボタンとカラーディスプレイを備えた一体型ヘッドユニットです。トップチューブ前方にすっきりと埋め込まれたスリムなデザインにより、洗練された外観と優れた画面の視認性を実現しています。ハイクオリティ、プレミアムデザイン、そしてアップグレードされたユーザーインターフェースにより、RideControl Go Lux はあなたのサイクリング体験をこれまでになくレベルへと引き上げます。

機能操作:

- 電源オン/オフ
 - 電源オン: ボタン(A)を短く押す
 - 電源オフ: ボタン(A)を1.5秒以上長押し
- ライトオン/オフ
 - ボタン(A)を短く押す

表示項目:

1. ワイヤレス接続
2. ライトステータス
3. Eシフト
4. 時刻
5. バッテリーステータス
6. バッテリー残量インジケータ
7. データフィールド
8. 走行ページ



i 情報

主要機能を操作し、詳細設定にアクセスするには、追加のリモートコントロール (RideControl Ergo 4など) が必要です。

電源オン/オフ

- 「電源オン/オフ」ボタン(A)を押してシステムをオンにすると、LEDが2秒間点灯し、ディスプレイにGIANT/LIV/MOMENTUMのブランドロゴが起動アニメーションとして表示され、その後バッテリー残量が表示されます。その後、走行ページが表示され、走行準備が完了します。
- システムをオフにするには、「電源オン/オフ」ボタン(A)を1.5秒以上長押しして離します。LEDが消灯し、ディスプレイに「SEE YOU」と表示されディスプレイが消えます。

ディスプレイ

1. ワイヤレス接続: 自転車とRideControlアプリ間のワイヤレス接続が有効になっていることを示します。
2. ライトステータス: アイコンは自転車のライトがオン/オフされていることを示します。
3. Eシフト: このアイコンは電子変速の状態を示します。
 - A: オートシフトモード
 - M: マニュアルシフトモード"A"または"M"の下の数字はギアポジションを示します。
4. 時刻: 現在時刻を表示します。
5. バッテリーステータス: 現在のEnergyPakの残量を100%から0%まで示します。
 - バッテリー残量が3%未満になると、バッテリーアイコンが点滅を開始します。システムは最低アシストモードに切り替わります。
 - バッテリー残量が1%未満になると、バッテリーアイコンは点滅を続けます。パワーアシストシステムは自動的にシャットオフします。安全機能として、自転車のライトは少なくとも2時間は機能し続けます。



情報

- バッテリーステータス、時刻、ライトのオン/オフは常にステータスバーに表示されます。他のアイコンは機能が作動している時のみ表示されます。
- すべての機能にアクセスするには、RideControlアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。一部の機能は特定の自転車モデルまたはコンポーネントでのみ使用可能であることにご注意ください。詳細については、機能互換性チャートを確認するか、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

アシストモード

各アシストモードは、認識しやすいように専用のディスプレイ背景色があります：

アシストモード	背景色
OFF	グレー
ECO	ライトグリーン
TOUR	グリーン
ACTIVE	イエロー
SPORT	オレンジ
POWER	レッド
AUTO - Smart Assist	ブルー

- アシストモードの表記名と各モードのパワー比率は、SyncDriveモーターの種類と工場システム設定によって異なります。
- POWERモードは最も強力なパワーアシストを提供しますが、エネルギー消費も最も高くなります。
- ECOモードは最も低いパワーアシストを提供しますが、走行可能距離は最も長くなります。

データフィールド

データフィールドは、単一の走行ページで様々な走行情報を表示するために使用されます。表示される情報の数は設定メニューを通じて1から2まで(ページあたり最大4)変更でき、カスタマイズすることができます。また、表示したい走行ページの数を定義することもできます。走行ページとデータフィールドのデフォルト設定(6ページ、各1フィールド)：

- 速度：現在の走行速度
- 補助残距離：選択したアシストモードに基づく推定航続距離
- 走行距離：最後のリセット以降の累積走行距離
- 走行時間：最後のリセット以降の累積走行時間
- ケイデンス：現在のペダリング速度 (rpm、1分あたりの回転数)
- 総走行距離：初回使用以降の総走行距離

情報

- 実際のバッテリー走行可能距離は、地形条件、ライダーの状態、走行スタイル、天候によって異なります。十分な電力を確保するため、毎回の走行前にバッテリー走行可能距離を確認してください。地形や風などの要因が走行中の走行可能距離に影響を与える可能性があることにご注意ください。
- 走行ページの最大数は10、最小数は1です。

自転車ライトとディスプレイの明るさ

- システムがオンの後、ボタン(A)を押して自転車ライトをオン/オフします。
- ライトステータスはステータスバーのアイコンからも確認できます。
- RideControl Go Luxには内蔵の光センサーがあり、周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを昼/夜モード間で自動調整します。手動モードに切り替えると、昼/夜のディスプレイの明るさはフロントライトスイッチに従い、ライトがオフ/オンの時に昼/夜モードになります。



情報

- 主要機能と詳細設定には追加のリモートコントロールが必要です。ディスプレイの明るさを調整するには、設定 > 走行 > 明るさに進みます。
- システム機能は接続されているRideControlリモートによって異なります。

バッテリー残量インジケータ

10%間隔で残りの走行可能距離を示す10段階のバッテリーレベルがあります。20%未満になると、バッテリー残量低下を通知する色付きアイコンが順次表示されます：

- 19%-10%：黄色の点灯
- 9%-4%：赤色の点灯
- 3%-0%：赤色の点滅



情報

E-bikeがデュアルバッテリーを搭載している場合、2つのバッテリーアイコンが表示されます。左側のアイコンはセカンダリーバッテリーを、右側のアイコンはメインバッテリーを示します。バッテリーのパーセンテージは両方のバッテリーの合計値です。

システムイベント(エラーコード)

システムイベントの異なるレベルを通知する3種類のポップアップ通知があります：故障が発生すると、システムイベント警告ディスプレイが表示されます。

- レベル3：警告

このシステムイベントレベルは、走行を妨げる可能性のある故障やエラーによる重大な状態を示します。このメッセージが表示された場合、自転車を点検するか、ジャイアント正規販売店に相談して更なる支援を受けることをお勧めします。レベル3の警告メッセージは手動でのみ解除できます。任意のボタンを押すと警告メッセージが消え、ステータスバーにレンチアイコンが表示されます。

- レベル2：注意

レベル2の注意メッセージは、二次的なエラーまたは状態を通知します。これらのイベントはシステム動作に即座には影響しませんが、注意が必要です（異常なタイヤ空気圧など）。レベル2の通知は3秒後に自動的に消えるか、この期間中に任意のボタンを押して消すことができます。レベル3の警告と同様に、メッセージが消えた後にステータスバーにレンチアイコンが表示されます。

• レベル1:通知

レベル1の通知は、システム状態の変更や操作への応答 (Eシフトのギア変更など) を表示します。これらの通知は3秒後に自動的に消えるか、この期間中に任意のボタンを押して消すことができます。より高いレベルの警告とは異なり、レベル1の通知ではステータスバーにレンチアイコンは表示されません。

クイックトラブルシューティング手順

1. ディスプレイに表示されたイベントの説明を記録します。
2. システムをオフにします。
3. タイヤのパンクやシステムの再起動など、その場で解決できる原因がないか確認します。
4. 安全上の問題がない場合は、問題を除外してシステムを再起動してみてください。
5. 問題が正常に解決された場合は走行を継続できますが、未解決の問題やメンテナンスの必要性がないことを確認するため、ジャイアント正規販売店でサービスチェックを予約してください。
6. 問題が解決しない場合は、手順1-4を繰り返してください。
7. 数回確認しても問題が解決しない場合は、安全のために走行を中止し、ジャイアント正規販売店に連絡してサービスと修理を受けてください。

3.3.3 RideControl Go 2

RideControl Go 2は、トップチューブに一体化された電源ボタン、LEDライトバー、フロントライトスイッチを備えた操作ユニットです。シンプルさを追求した設計で、直感的な操作性を提供するとともに、洗練されたデザインが生み出すクリーンで美しい外観を備えています。

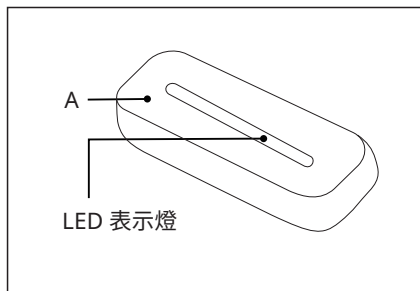
機能操作:

- 電源オン/オフ
 - 電源オン: ボタン(A)を短く押す
 - 電源オフ: ボタン(A)を1.5秒以上長押し
- ライトオン/オフ
 - ボタン(A)を短く押す



情報

主要機能と詳細設定を操作するには、追加のリモートコントロールユニット (RideControl Ergo 4など) が必要です。



電源オン/オフ

- 「電源オン/オフ」ボタン(A)を押してシステムをオンにすると、LEDが2秒間点灯します。
- システムをオフにするには、「電源オン/オフ」ボタン(A)を1.5秒以上長押しして離します。LEDが消灯します。

自転車ライトとディスプレイの明るさ

システムがオンの後、ボタン(A)を押して自転車ライトをオン/オフします。

i 情報

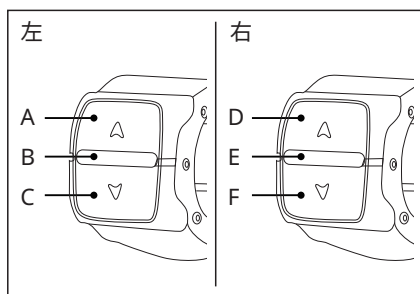
- RideControl Go 2には内蔵の光センサーがあります。ディスプレイ (RideDash Evo 2.0など) と組み合わせると、周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを昼/夜モード間で自動調整します。
- 主要機能と詳細設定にアクセスするには、追加のRideControlリモートとRideDashディスプレイ (RideControl Ergo 4やRideDash Evo 2.0など) が必要です。
- ディスプレイの明るさレベルを調整するには、設定 > 走行 > 明るさに進みます。

3.3.4 RideControl Ergo 4

RideControl Ergo 4は、洗練されたコックピット一体型デザインと直感的な操作性を兼ね備えた多機能スイッチです。人間工学に基づいたボタンレイアウトにより、最小限の指の動きでE-bikeの各種機能をスムーズに操作できます。RideControl Go 2やRideControl Go Luxと組み合わせることで、E-bikeのすべての機能を瞬時にコントロール可能。速くて楽しい!

機能操作:

- アシストレベルアップ
 - ボタン(A)を短く押す
- ウォークアシスト (日本国内非対応)
 - ボタン(B)を1.5秒以上押した後、ボタン(C)を長押し
 - ウォークアシスト機能の停止: ボタン(C)を離す
- アシストレベルダウン
 - ボタン(C)を短く押す
- スマートアシスト (AUTO)モード (日本国内非対応)
 - ボタン(A)を1.5秒以上長押し
- 走行ページの切り替え (右)
 - ボタン(B)を短く押す
- 設定メニュー
 - ボタン(A)と(C)を同時に短く押す
- メニュー選択の確認
 - ボタン(B)を短く押す
- 走行ページの切り替え (左/右) / *Eシフト (ギアアップ/ダウン)
 - ボタン(D)または(F)を短く押す
- マニュアル/オートシフトモード*
 - ボタン(E)を短く押す
 - オートモードで好みのケイデンス設定のため(D)または(F)を押す





情報

- * この機能はEシフトを搭載した自転車でのみ使用可能です。その場合、ライダーはボタン(B)を使用して走行ページを右方向にのみ切り替えることができます。
- 主要機能と詳細設定にアクセスするには、追加のディスプレイユニット(RideControl Go Luxなど)が必要です。
- システムには最大2台のRideControl Ergo 4ユニットを接続できます。RideControlアプリを通じてボタン機能をカスタマイズすることはできません。RideControl Ergo 4ユニットを1台または2台使用する場合、システムはデフォルトのボタン設定で動作します。
- 地域の規制により、ウォークアシスト機能は一部の地域/国では利用できません。

アシストモードの切り替え

ボタン(A)または(C)を押してアシストモードを変更します。

スマートアシスト(AUTO)モード(日本国内非対応)

- スマートアシスト(AUTO)モードでは、SyncDriveモーターが地形とライダーの入力に応じてアシストパターンを自動的に調整します。
- ボタン(B)を1.5秒間長押しすると、スマートアシストが有効になり、ディスプレイにアシストモードとして「AUTO」が表示されます。
- スマートアシスト(AUTO)モードで操作中、ボタン(A)または(C)を押すと手動アシストモードに切り替わります。AUTOモードを終了すると、システムは常にACTIVEモードがデフォルトとなります。

アシストオフ

自分の力で走行するために、モーターアシストをオフにすることもできます。

- ボタン(C)でアシストモードを切り替え、ディスプレイに"OFF"と推定残距離が表示されるまで進みます。
- その他のすべてのシステム機能は引き続き使用可能です。

ウォークアシスト(日本国内非対応)

ウォークアシストは、自転車を押して歩く際に自転車を前進させる機能です。この機能を有効にすると、ドライブユニットが後輪を軽く駆動して自転車の重量を軽減します。自転車を押して歩く速度に応じて、ウォークアシストは最大6 km/h (4 mph)までの速度をサポートできます。

- ボタン(B)を1.5秒間押し、ウォークアシストをスタンバイ状態にします。
- 3秒以内にボタン(C)を押して、ウォークアシストを有効にします。
- ボタン(C)を離すとウォークアシストが一時停止します。一時停止後3秒以内にボタン(C)を押すと、ウォークアシストが再び作動します。



情報

- ウォークアシストのスタンバイのためにボタン(B)を押した後、または使用中の一時停止のためにボタン(C)を離した後、3秒以内にウォークアシストを有効にするコマンドがない場合、ウォークアシストは終了し、通常の走行ページに戻ります。
- 地域の規制により、ウォークアシスト機能は一部の地域/国では利用できません。

データフィールド

データフィールドは、単一の走行ページで様々な走行情報を表示するために使用されます。ボタン(B)を1回押すことで、これらのページ間をスクロールできます。

走行ページとデータフィールドのデフォルト設定(6ページ、各1フィールド)：

- 速度：現在の走行速度
- 補助残距離：選択したアシストモードに基づく推定航続距離
- 走行距離：最後のリセット以降の累積走行距離
- 走行時間：最後のリセット以降の累積走行時間
- ケイデンス：現在のペダリング速度 (rpm、1分あたりの回転数)
- 総走行距離：初回使用以降の総走行距離

i 情報

- 実際のバッテリー走行可能距離は、地形、ライダー、走行スタイル、天候によって異なります。十分な電力を確保するため、毎回の走行前にバッテリー走行可能距離を確認してください。地形や風などの要因が走行中の走行可能距離に影響を与える可能性があることにご注意ください。
- ボタン(D)または(F)を押して、異なる走行ページを切り替えることもできます。

設定メニュー

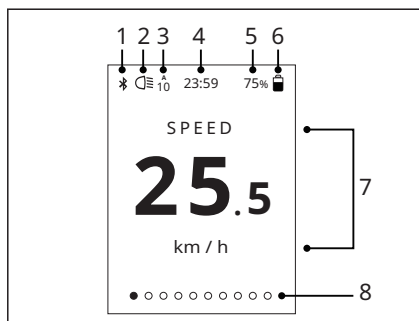
ボタン(D)と(F)を同時に短く押して設定メニューにアクセスします。設定メニュー内では、ボタン(D)と(F)は設定コントロールとして機能します。設定メニューを終了すると、これらのボタンは走行機能コントロールに戻ります。

3.3.5 RideDash Evo 2.0

RideDash Evo 2.0は、フルカラーの2.5インチディスプレイを搭載したE-bike用表示ユニットです。走行データ、ライダー情報、システムステータスなどをひと目で確認できます。ガラス製スクリーンに加え、高解像度と高フレームレートにより、滑らかで見やすい表示を実現しています。

表示項目：

1. ワイヤレス接続
2. ライトステータス
3. Eシフト
4. 時刻
5. バッテリーステータス
6. バッテリー残量インジケータ
7. データフィールド
8. 走行ページ





情報

RideDash Evo 2.0は情報を表示するディスプレイで、E-bike機能を操作するにはRideControlリモートボタン（RideControl Ergo 4など）と組み合わせて使用する必要があります。

ディスプレイ

1. ワイヤレス接続: 自転車とRideControlアプリ間のワイヤレス接続が有効になっていることを示します。
2. ライトステータス: アイコンは自転車のライトがオン/オフされていることを示します。
3. Eシフト: このアイコンは電子変速の状態を示します。
 - A: オートシフトモード
 - M: マニュアルシフトモード"A"または"M"の下の数字はギアポジションを示します。
4. 時刻: 現在時刻を表示します。
5. バッテリー状態: 現在のEnergyPakの残量を100%から0%まで示します。
 - バッテリー残量が3%未満になると、バッテリーアイコンが点滅を開始します。システムは最低アシストモードに切り替わります。
 - バッテリー残量が1%未満になると、バッテリーアイコンは点滅を続けます。パワーアシストシステムは自動的にシャットオフします。安全機能として、自転車のライトは少なくとも2時間は機能し続けます。



情報

- バッテリー状態、時刻、ライトのオン/オフは常にステータスバーに表示されます。他のアイコンは機能が作動している時のみ表示されます。
- すべての機能にアクセスするには、RideControlアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。一部の機能は特定の自転車モデルまたはコンポーネントでのみ使用可能であることにご注意ください。詳細については、機能互換性チャートを確認するか、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

データフィールド

データフィールドは、単一の走行ページで様々な走行情報を表示するために使用されます。表示される情報の数は設定メニューを通じて1から2まで（ページあたり最大4）変更でき、カスタマイズすることができます。また、表示したい走行ページの数を定義することもできます。走行ページとデータフィールドのデフォルト設定（6ページ、各1フィールド）：

- 速度: 現在の走行速度
- 補助残距離: 選択したアシストモードに基づく推定航続距離
- 走行距離: 最後のリセット以降の累積走行距離
- 走行時間: 最後のリセット以降の累積走行時間
- ケイデンス: 現在のペダリング速度 (rpm、1分あたりの回転数)
- 総走行距離: 初回使用以降の総走行距離



情報

- 実際のバッテリー走行可能距離は、地形条件、ライダーの状態、走行スタイル、天候によって異なります。十分な電力を確保するため、毎回の走行前にバッテリー走行可能距離を確認してください。地形や風などの要因が走行中の走行可能距離に影響を与える可能性があることにご注意ください。
- 走行ページの最大数は10、最小数は1です。

自転車ライトとディスプレイの明るさ

- ライト状態はステータスバーのアイコンからも確認できます。
- 昼/夜のディスプレイの明るさは、ライトがオフ/オンの時に昼/夜モードになるようにフロントライトスイッチに従います。
- 設定 > 走行 > 明るさを通じて、お好みの昼/夜時のディスプレイ明るさレベルを調整することもできます。



情報

システム機能は接続されているRideControlリモートボタンによって異なります。

バッテリー残量インジケータ

10%間隔で残りの走行可能距離を示す10段階のバッテリーレベルがあります。20%未満になると、バッテリー残量低下を通知する色付きアイコンが順次表示されます：

- 19%-10%：黄色の点灯
- 9%-4%：赤色の点灯
- 3%-0%：赤色の点滅



情報

E-bikeがデュアルバッテリーを搭載している場合、2つのバッテリー状態アイコンが表示されます。左側のアイコンはセカンダリーバッテリーを、右側のアイコンはメインバッテリーを示します。バッテリーのパーセンテージは両方のバッテリーの合計値です。

アシストモード

各アシストモードは、認識しやすいように専用のディスプレイ背景色があります：

アシストモード	背景色
OFF	グレー
ECO	ライトグリーン
TOUR	グリーン
ACTIVE	イエロー
SPORT	オレンジ
POWER	レッド
AUTO - Smart Assist	ブルー

- アシストモードの表記名と各モードのパワー比率は、SyncDriveモーターの種類と工場システム設定によって異なります。
- POWERモードは最も強力なパワーアシストを提供しますが、エネルギー消費も最も高くなります。
- ECOモードは最も低いパワーアシストを提供しますが、走行可能距離は最も長くなります。

設定メニュー

設定メニュー内では、ボタンは設定コントロールとして機能します。メニューを終了すると、これらのボタンは走行機能コントロールに戻ります。

システムイベント

システムイベントの異なるレベルを通知する3種類のポップアップ通知があります：故障が発生すると、システムイベント警告ディスプレイが表示されます。

• レベル3: 警告

このシステムイベントレベルは、走行を妨げる可能性のある故障やエラーによる重大な状態を示します。このメッセージが表示された場合、自転車を点検するか、ジャイアント正規販売店に相談して更なる支援を受けることをお勧めします。レベル3の警告メッセージは手動でのみ解除できます。任意のボタンを押すと警告メッセージが消え、ステータスバーにレンチアイコンが表示されます。

• レベル2: 注意

レベル2の注意メッセージは、二次的なエラーまたは状態条件を通知します。これらのイベントはシステム動作に即座には影響しませんが、注意が必要です（異常なタイヤ空気圧など）。レベル2の通知は3秒後に自動的に消えるか、この期間中に任意のボタンを押して消すことができます。レベル3の警告と同様に、メッセージが消えた後にステータスバーにレンチアイコンが表示されます。

• レベル1: 通知

レベル1の通知は、システム状態の変更や操作への応答（Eシフトのギア変更など）を表示します。これらの通知は3秒後に自動的に消えるか、この期間中に任意のボタンを押して消すことができます。より高いレベルの警告とは異なり、レベル1の通知ではステータスバーにレンチアイコンは表示されません。

クイックトラブルシューティング手順

1. ディスプレイに表示されたイベントの説明を記録します。
2. システムをオフにします。
3. タイヤのパンクやシステムの再起動など、その場で解決できる原因がないか確認します。
4. 安全上の問題がない場合は、問題を除外してシステムを再起動してみてください。
5. 問題が正常に解決された場合は走行を継続できますが、未解決の問題やメンテナンスの必要性がないことを確認するため、ジャイアント正規販売店でサービスチェックを予約してください。
6. 問題が解決しない場合は、手順1-4を繰り返してください。
7. 数回確認しても問題が解決しない場合は、安全のために走行を中止し、ジャイアント正規販売店に連絡してサービスと修理を受けてください。

3.3.6 Aegis Tire Checker

Aegis Tire Checkerは、タイヤ空気圧をリアルタイムでモニタリングし、最適なパフォーマンスとライダーの安全をサポートするスマートセンサーです。電源を入れると自動で作動し、走行前のチェックを素早く完了。空気圧が設定された上限・下限を超えた場合や、急激な低下が検知された場合には、リモートコントロールまたはRideControlアプリを通じて警告通知が届きます。



注記

使用前にAegis Tire Checkerのバッテリーに取り付けられている絶縁シートを必ず取り外してください。

設定と使用

RideControlアプリとリモートコントロールを通じて、好みの走行スタイルに合わせて警告範囲を設定できます。

- RideControlアプリとリモートコントロールの両方で、好みのタイヤ空気圧警告範囲を設定できます：
 - RideControlアプリ: E-bike設定 > Aegis Tire Checker設定
 - リモートコントロール: 設定 > アクセサリー > タイヤ空気圧センサー
- タイヤ空気圧は、バッテリー残量表示に続く起動アニメーションで表示されるだけでなく、走行ディスプレイにデータフィールドを追加するか、RideControlアプリのAegis Tire Checker設定メニューで瞬時のタイヤ空気圧を確認することもできます。
- Aegis Tire Checkerは超高感度です。通常、E-bikeの電源を入れると即座にタイヤ空気圧を読み取ることができます。読み取れない場合は、自転車を動かすかホイールを回転させてタイヤチェッカーを作動させてください。
- タイヤ空気圧が設定値を下回る/超える場合、または急激な低下が発生した場合、Aegis Tire Checkerが通知します。通知はE-bikeディスプレイとRideControlアプリの両方に音響警告と共に送信されます。安全のため、異常なタイヤ空気圧が警告された場合は、停止してパンクなのか単に空気圧が低すぎるだけなのかを確認してください。
- 前面のLEDインジケータはAegis Tire Checkerの状態を示します。詳細については以下の表を参照してください。

色	動作	状態
緑	点滅 (2秒間隔)	Aegis Tire Checker作動中
赤	点滅 (2秒間隔)	バッテリー低下
赤	点滅 (1秒間隔)	異常タイヤ空気圧検出
赤と緑	点滅 (1秒間隔)	ファームウェア更新中

バッテリー交換

Aegis Tire Checkerは使用状況により実際の数値は異なりますが、最大600時間がバッテリーの寿命です。以下のいずれかが発生した場合、バッテリー残量が低下していることを示しています。CR1632タイプのコイン電池と交換してください：

- ・ タイヤチェッカーのLEDが赤く点滅
- ・ E-bikeディスプレイのバッテリー低下通知
- ・ RideControlアプリのバッテリー低下通知



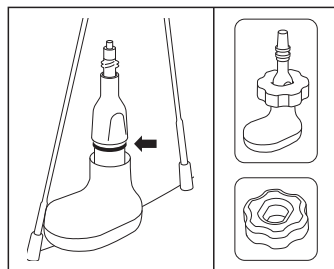
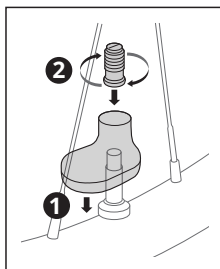
警告

- ・ 絶対にバッテリーを火中に投棄しないでください。
- ・ バッテリーを取り外す際に、鋭利な物や導電性の物を使用しないでください。
- ・ コイン電池：コイン電池は危険であり、子供の手の届かない場所に保管する必要があります。絶対に電池を口の中や体のどの部分にも入れないでください。飲み込んだり体内に入れたりした場合、2時間以内に重傷または致命傷を負う可能性があります。このような事態が発生した場合、または疑われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



取り付けに関する注意事項

- ・ タイヤチェッカーをバルブステムに合わせて挿入します。所定の位置に保持し、内側スリーブを手動または3mmの六角レンチで締めます(トルク:0.3Nm)。
- ・ タイヤチェッカーを保持し、Oリングが見えなくなるまで外側バルブを締めます。付属のロックツールを使用して簡単に組み立てることができます(トルク:0.8Nm~1.25Nm)。



メンテナンスガイド

推奨潤滑剤

外側スリーブの取り付けとOリングの保護には、シリコンベースまたはミネラルオイルベースのグリスを使用してください。入手のしやすさから、ミネラルオイルベースのグリスを推奨します。互換性のある製品には以下が含まれます：

- ・ PUFF DINO 197 イエローグリス(リチウムベース)
- ・ シマノ ケーブルグリス(シリコン+リチウムベース)

重要:防錆剤(WD-40など)、洗浄液、強溶剤ベースのグリス、油性クリーナーは使用しないでください。部品が損傷する可能性があります。

クリーニング手順

タイヤシーラントの汚染によりAegisタイヤチェッカーが誤作動する場合は、乾いた布や綿棒のみで清掃してください。液體クリーナーは追加の問題を引き起こす可能性があるため、使用を避けてください。外側スリーブなどの金属部品は水で洗浄できます。再組み立ての前に、小さな穴の詰まりをすべて取り除き、すべての部品が完全に乾いていることを確認してください。



注意

クリーニング中に部品の表面に傷をつけないよう注意してください。シール効果が損なわれる可能性があります。

3.3.7 Aegis Radar

Aegis Radarは、リアライト機能と車両検知機能を組み合わせた一体型のセーフティシステムです。後方から接近する車両を自動で検知し、それに応じてリアライトの点滅パターンを調整。視認性を高め、安全性を向上させます。接近車両の情報は画面上に表示され、ライダーはリアルタイムで状況を把握できます。リアライトユニットにスムーズに統合されており、安心して走行を楽しめる信頼性の高いシステムです。



警告

レーダーは、自転車事故の潜在的リスクを最小限に抑えるための接近車両の参考情報として機能します。ただし、走行時は周囲に注意を払い、安全のためにレーダーのみに頼らないでください。



情報

Aegis Radarは情報と警告を表示するために、互換性のあるディスプレイユニット (RideControl Go Lux、RideControl Dash 2、またはRideDash Evo 2.0など) が必要です。

設定

レーダーオン/オフ

デフォルト設定は「オン」です。Aegis Radarがオフの場合、右車線表示と音通知は無効になります。

レーダービープ音オン/オフ

デフォルト設定は「オン」です。Aegis Radarビープ音がオフの場合、右車線表示は維持されますが、警告通知はオフになります。



情報

設定メニューまたはRideControlアプリを使用して設定を調整します。

Aegisレーダー検知

仕様	詳細
検知距離	最大140 m
検知車両相対速度	10~100 km/h (6~60 mph)
検知車両数	最大8台
レーダービーム幅	40度

ディスプレイでのレーダー表示

レーダーがE-bikeの後方から接近する車両を検知すると、ディスプレイ上にドット表示として情報が表示されます。潜在的な脅威レベルに応じて色が変化し、ピープ音アラームによる警告が伴います。

色	状況	ピープ音アラーム
赤	高速で接近する車両 (速度差 \geq 60km/h)	2回
緑	低速で接近する車両 (速度差 < 60km/h)	1回



情報

- ・ 赤色警告インジケーターがディスプレイの上下境界に表示されます。
- ・ Aegisレーダーの附属テールライトが点滅して後方からの接近車両に警告し、安全性を高めます。

安全情報

使用前に安全情報とマニュアルをお読みください。不適切な使用は部品の損傷や怪我の原因となる可能性があります。



警告

- ・ Aegis Radarは補助ツールとしてのみ機能し、視覚的判断や道路状況の観察に代わるものではありません。
- ・ 常に警戒を怠らず、ミラーを使用して定期的に接近車両を確認してください。レーダーシステムのみには頼らないでください。
- ・ 悪天候(豪雨や霧など)はレーダー検知性能に影響を与える可能性があります。
- ・ 旋回時、トンネル内、または複雑な道路状況下ではレーダー検知が制限される場合があります。



注記

- ・ レーダーセンサーとテールライトアセンブリを清潔に保ち、汚れが検知性能に影響を与えないようにしてください。
- ・ 適切な動作を確保するため、レーダーシステムを定期的に点検してください。
- ・ 異常が検知された場合(誤警報や検知失敗など)、直ちにジャイアント正規販売店に連絡して点検を受けてください。

3.3.8 E-Lock

E-bikeの安全性を高め、安心してライディングをお楽しみいただくために、本モデルにはE-Lock機能を標準搭載しています。この機能は、モーターの駆動を無効化することで盗難抑止に貢献します。また、RideControlアプリを通じて、E-bikeのロックおよび解除をワイヤレスで手軽に操作でき、利便性とセキュリティの両立を実現しています。

電子ロックの設定

1. 電子ロックを設定する前に、E-bikeの有効化とオーナー登録のプロセスを完了してください。有効なGiant IDを持つ登録ユーザーのみが電子ロック機能を有効化できます。
2. E-bikeの電源を入れます。
3. E-bikeをRideControlアプリに接続します。
4. E-bike設定メインページで電子ロック設定ボタンを見つけます。
5. 電子ロック用の4桁のPINコードを設定します。
6. コードは電子ロックの有効化プロセスでGiant IDに接続された自転車所有者専用保存されます。PINコードの設定後は、RideControlアプリの仮想ボタンで簡単にE-bikeのロック/ロック解除ができます。

電子ロックの使用

1. E-bikeの電源を入れます。ロック状態はシステムの電源がオフの時と同じ状態を維持します。
2. RideControlアプリをE-bikeに接続します。
3. ホームページの右上で、接続されたE-bikeの名前の後にある電子ロックアイコン/ボタンを見つけます。
4. この仮想ボタンを押してE-bikeをロック/ロック解除します。
5. RideControl Dash 2またはRideDash Evo 2.0/RideControl Ergo 4をユーザーPINコードと共に使用してE-bikeをロック解除することもできます：
 - 設定メニューに入り、走行ページの下にある電子ロック設定を見つけます。「マニュアルロック」を選択するとE-bikeがロックされます。
 - E-bikeのロックを解除するには、任意のキーを押してから4桁のPINコードを入力できます。
 - PINコード入力後、確認を押してロックを解除します。
 - 誤ったパスワードが入力された場合、通知が表示され、PINコードを再入力する必要があります。



警告

- PINコードは安全かつ機密に保管してください。他人と共有したり、他人が見える場所に記録したりしないでください。
- PINコードを忘れた場合は、ジャイアント正規販売店にサポートを依頼してください。システムの損傷を引き起こす可能性があるため、強制的なロック解除を試みないでください。
- セキュリティ強化のため、電子ロック機能のみに頼らず、従来の機械式ロックと組み合わせて使用することをお勧めします。



注記

- システムのセキュリティを確保するため、電子ロック機能が正常に動作しているか定期的に確認してください。
- 異常が検知された場合は、直ちにジャイアント正規販売店に連絡して点検を受けてください。



情報

- 電子ロックは自転車のセキュリティを確保するためのアカウント連動専用機能です。
- 自転車所有者以外のユーザーもE-bikeに接続できますが、一部の機能のみ利用可能です。

3.4 キー

一部のモデルには、バッテリーロックやバイクロック用の同一のキーを2本標準装備しています。そのキーのいずれかがなければ、ロックが外せません。



注記

- メンテナンスや修理で取扱店/販売店を訪れる場合は、必ずキーをお持ちください。
- キーとキー番号のタグは、バイクのフレーム番号や他の書類と一緒に保管してください。
- 資格のある錠前屋にオリジナルキーの予備のスペアを作ってもらい、別のところに保管することをお勧めします。

3.5 走行距離

1回の充電の範囲は、次のようないくつかの状況に大きく依存します(ただしこれらに限定されません)

- ライダー、同乗者、バイクに乗せた荷物を含めた車両総重量。
- 天候(周囲温度や風など)。
- 道路状況(高度や路面など)。
- バイクの状態(タイヤ空気圧やメンテナンス状況など)。
- 充放電サイクルの回数。
- EnergyPak の使用年数および状態。
- バイクの使用(加速やシフティングなど)。
- 使用するアシストレベル。

4 運搬および保管

運搬



注意

- 充電器や EnergyPak などの着脱式 (電子) パーツは、必ずEバイクから取り外した上で運搬する必要があります。
- Eバイク運搬に使用する車両や自転車用キャリアのメーカーによる取扱説明書には、必ず従ってください。



注記

- Eバイクを悪天候の中で運搬するのは、できるだけご遠慮ください。
- 悪天候での運搬が避けられない場合は、露出するすべての電子部品を、運搬中に適切に保護してください。
- 風雨の中スピードを出すと、圧力により水滴が電子部品に入り込み、一次的な不具合や永久的な欠陥が生じる場合があります。
- こうした状況下での運搬後に不具合が生じた場合は、目的地についたら EnergyPak を取り外し、パーツをすべて自然乾燥します。

Eバイクの保管

できるだけ、Eバイクが風雨にさらされない場所に保管してください。



注記

- 雪、雨、道路用塩や酸によって、Eバイクパーツの一部に腐食や劣化が起こる場合があります。
- 太陽からの紫外線はバイクの色あせや、ゴムやプラスチック部品に細かい穴、亀裂をおこす可能性があります。
- 保管中、過度に高い/低い温度に曝されると、一次的な不具合、または永久的な欠陥が生じることもあります。

バッテリーの保管

長期保管するには、EnergyPak の接続を切ってバイクから取り外します。



注意

- EnergyPak は、乾燥した安全な場所に保管してください。
- EnergyPak はを環境温度が $-20^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 122^{\circ}\text{F}$) の間で保管してください。
 - $-20^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 122^{\circ}\text{F}$): 1ヶ月以内の保管用。
 - $-20^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 104^{\circ}\text{F}$): 1~3ヶ月の保管用。
 - $-20^{\circ}\text{C}\sim 20^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 68^{\circ}\text{F}$): 3~12ヶ月の保管用。



注記

- 適切な温度で EnergyPak を保管しないと、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
- EnergyPak は、充電量約 60% で保管してください。
- Eバイクを長期間保存する時は、EnergyPak の充電量を毎月チェックしてください。
- 充電量が 60% 未満になったらEnergypakを充電します。
- EnergyPak は、少なくとも 3 カ月ごとに充電してください。
- EnergyPak を間違った方法で保管したり、長期間放置したりすると、容量の低下や欠陥が生じる可能性があるほか、製造保証が無効となる場合があります。

5 メンテナンス

定期メンテナンスとクリーニングは、最高のパフォーマンスや安全のために欠かせないものです

資訊情報

必ずウェブサイトおよび一般自転車ユーザーマニュアルに記載されているメンテナンス情報をご確認ください。

お手入れ

柔らかい布やブラシにお好みで少量の中性洗剤をつけ、汚れを拭き取ります。その後、柔らかい清潔な布で乾拭きします。

注意

- 洗浄に高圧水や高圧エアホースを使用しないでください。(密封された) 電子部品に水が侵入し、不具合や欠陥を引き起こす恐れがあります。
- 水を多量に使用してEバイクの部品を洗浄しないでください。内蔵電子部品に水が進入した場合、不具合その他の問題を引き起こす可能性があります。

注記

部品の洗浄には、中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤は、素材の劣化、変色、歪み、傷などの原因となる恐れがあります。

ドライブトレイン

警告

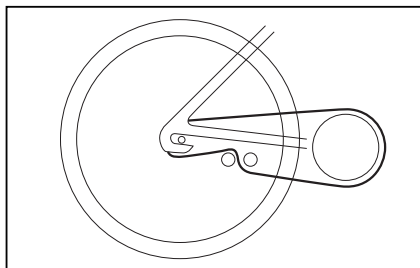
チェーンの張りを点検する時は、必ずバッテリーを取り外してください。システムに電源が供給された状態でドライブトレインに手(または手以外の身体の一部)を触れると、モーターが急に作動することがあります。

注意

- 調整や交換作業はすべて、適切な工具を使用して行う必要があります。またそれらを行えるのは、適切な訓練を受けた整備士のみとなります。
- お使いのEバイクの技術的なメンテナンスに関する詳細やサポートについては、担当の取扱店/販売店までお問い合わせください。

チェーンの張り

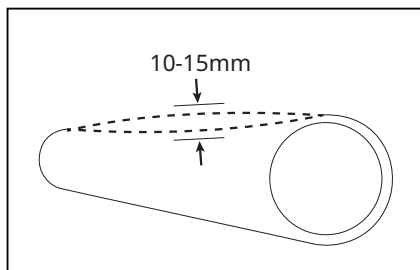
一部のモデルでは、リアホイールにギアハブが内蔵されています。適切なチェーンの張りを維持する自動チェーンテンショナーが装備されている場合もあります。チェーンがかなり緩んでいる場合は、張りを調整するか、または摩耗したチェーンの交換が必要となる場合があります。



チェーンの張りの点検方法

チェーンの張りを点検するには、クランクアームを回らないようにした上で、フロントスプロケットとリアスプロケットの間、チェーンの真ん中にあたる部分を持ちます

- チェーンを上下に動かし、チェーンの緩みを点検します。
- 上下に 10-15mm 動かせる状態が適切な状態です。
- この動きに大幅な大小が生じる場合は、担当の取扱店/販売店にお問い合わせの上、技術サービスをご依頼ください。



ベルトドライブ

技術仕様および技術要件については、Eバイクに同梱されているベルトドライブのメーカーの取扱説明書をお読みください。ベルトドライブが装備されているすべてのモデルに、ベルトの張りを調整するためのスライド式リアドロップアウトと張り調整用のねじが装備されています。ベルトドライブの調整手順は、チェーンの調整手順と同じです。

6 廃棄



欧州議会の指令 2006/66/EC によると、欠陥のあるまたは使用済みのバッテリー、バッテリーパック、または単一のセルは、別々に収集し、環境に優しい方法で廃棄する必要があります。

使用済みのセルとバッテリーはリサイクル可能な経済的なアイテムです。取り消し線が引かれたゴミ箱を示すマークに従い、これらのバッテリーは家庭ごみとして処分することはできません。



注記

- 使用済みバッテリーは有害廃棄物として処理する必要があります。
- バッテリーは、関連する国の環境保護規則に従って廃棄する必要があります。
- バッテリーをリサイクル施設または Giant の認定ディーラーに返却してください。
- よくわからない場合は、Giant のカスタマーサービス部門に連絡してください。

7 法的書類

7.1 保証

Giant/Liv/Momentum は最初の所有者に対し、下記の指定期間、新しい各 Giant/Liv/ Momentum ブランドのバイクのフレーム、リジッドフォークまたは構成部品において、材料および製造上の欠陥がないことを保証します。

以下を含む電子機器に対しては 2 年間の保証:

- RideControl のディスプレイとボタン
- SyncDrive モーター
- EnergyPak バッテリー: 最大 600 回の充電で公称容量の 60%。
- 配線

許容総荷重はバイクの仕様や走行シナリオによって変化する可能性があるため、Eバイクの最大荷重についてはフレームの規制ラベルを参照してください。

その他のすべてのパーツおよびコンポーネントについては、このEバイクと共に納品される一般的なユーザーマニュアルで言及しています。ユーザーマニュアルは問題が発生した場合に有用です。以下および除外 52 ページの情報は、参照のみを目的としています。

購入時には組み立てが必要です

本保証は Giant/Liv/Momentum 正規取扱店/販売店で新しく購入され、購入時に取扱店/販売店によって組み立てられたバイクとフレームセットにのみ適用されます。

限定的救済

特段の記載がない限り、上記の保証または黙示の保証に対する唯一の救済手段。は、Giant/Liv/Momentum の単独の裁量によって同等またはそれ以上の価値のものと欠陥部品の交換に限定されます。本保証は購入日より発効し、最初の所有者にのみ適用されます。譲渡はできません。人身傷害による損害、物的損害、経済的損失を含むがこれらに限定されない、いかなる直接的、偶発的もしくは派生的損害についても、契約、保証、怠慢、製造物責任もしくはその他の法理論に基づくものであれ、Giant/Liv/Momentum は一切責任を負いません。

Giant/Liv/Momentum は明示または黙示を問わず、他の一切の保証を行いません。商品性および特定目的への適合性を含む、すべての黙示的な保証は、上記に明記されている保証期間に限定するものとします。本保証に対するいかなる請求も、Giant/Liv/Momentum 正規代理店を通じて行うものとします。保証請求の処理を進める前に、購入時の領収書もしくは購入日を証明するものがが必要です。購入した国以外で行われる請求は、手数料や追加の制限事項が適用される場合もあります。保証期間と詳細はフレームのタイプや国によって異なる場合があります。本保証は、お客様に対して特定の法的権利を付与するものですが、お住まいの地域により、その他の権利が付与される場合があります。本保証は、お客様の法的権利には影響しません。

7.2 除外

組み立てや材料の欠陥がない状況でのタイヤ、チェーン、ブレーキ、ケーブル、歯車などの部品の通常の摩耗。

- Giant/Liv/Momentum 認定ディーラー以外のバイク。
- 元の状態から改造したもの。
- 自転車の通常使用とは異なる状況での使用、競技、商業活動、もしくは設計された目的以外でのバイクの使用。
- ユーザーマニュアルに従わなかったことに起因する損傷。
- 大会、ジャンプ、ダウンヒル、またはこのようなアクティビティやイベントに向けたトレーニングに参加することに起因する、もしくはバイクを過酷な条件や気候にさらしたり、そのような状況で走行したことに起因する塗装の仕上げおよびデカールの損傷。
- パーツの交換や切り替えにかかった人件費。

本保証に定める場合を除き、Giant/Liv/Momentumおよびその従業員および代理人は、Giant/Liv/Momentum バイクに起因または関連するいかなる損失または損害（過失または不履行に起因する付随的損失・損害および派生的損失・損害を含みます）に対しても責任を負わないものとします。

7.3 適合性



サポートされる最高速度が45km/hのハイブリッド電動自転車は、L1e-Bカテゴリの車両に関するEU指令168/2013/ECの要件を満たします。

サポートされる最高速度が25km/hのハイブリッド電動自転車は、EU機械指令2006/42/ECの要件を満たします。

ライダーの耳元でのA特性音圧レベルは、70dB(A)未満です。これらの自転車は以下の非整合規格にも準拠します。

- 自転車規格: ISO 4210-2
- 電動自転車: EN 15194
- 電動自転車-マウンテンバイク: EN 17404

ご手元のEバイクの適合宣言は、このユーザーマニュアルに記載されています。

7.4 免責事項

バイクを改造しないでください。改造とは、標準装備の取り外しや交換、もしくはその他の方法でバイクの設計や動作を変える可能性のある変更をバイクに加える行為です。これに該当する変更は、バイクの操作性、安定性、その他の側面を深刻に損ない、バイクを安全にお使いいただけない状態に変える可能性があります。また改造により、保証書が無効になったり、適用される法律や規制にバイクが適合しなくなったりする可能性があります。安全性、品質、信頼性を保証するため、修理や交換には、Giant/Liv/Momentum 純正部品または Giant/Liv/Momentum 認定交換部品のみを使用してください。Giant/Liv/Momentum は、身体の障害、財産の損害、経済損失を含むがこれらに限定されない直接的、付随的、または結果的損害の責任を負いません。

GIANT JAPAN CO., LTD |

2-44-3, Kosugi Gotencho, Nakahara-Ku Kawasaki-Shi, Kanagawa, 211-0068, Japan

